

令和6年度

学校評価報告書



綾瀬市立綾瀬小学校

凡
例

- そう思う
- ▨ ややそう思う
- ▩ あまり思わない
- ▧ そう思わない
- わからない

[実施日/調査対象/回収率] 令和6年11月～12月/児童 816人
令和6年11月～12月/保護者 569人
令和6年11月～12月/教職員 40人

1 学校は、「自分ごととしてとらえ、表現できる子」を育てるために、学習指導に取り組んでいる。

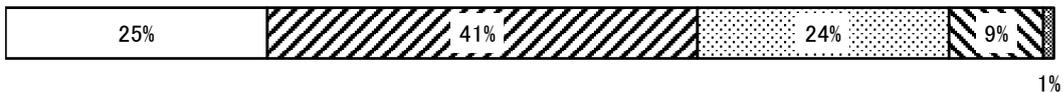
学校の取組

本校では、児童の実態を踏まえ、将来、社会において自立的に生きる力をはぐくむために、「自分ごととしてとらえ、表現できる子」を重点目標として学校教育目標の具現化を図っています。校内研究では、「自分ごととしてとらえ、表現できる子」をテーマに、生活科・総合的な学習の時間を中心に教育課程（教育計画）を見直す中で、教科横断的に学習内容を配列し、育てたい資質・能力が身に付くよう努めています。

児童 設問 授業中、進んで学習に取り組んでいる。



保護者 設問 子どもは、自分で考え学習に取り組んでいると思う。



教職員 設問 1 4 1 4

私は授業の中で「自分で考え表現する」思考力・判断力・表現力を磨く場面を意図的に設けている。



今後に向けて

学校としては、さらに意識的に思考力・判断力・表現力を磨くことができるような授業展開の工夫や教職員への研修を実施するとともに、保護者とも連携して、家庭においても協力していただけるよう働きかけていきます。また、地域教材の積極的な活用を推進し、児童や学校と地域とのつながりを深められるよう努めます。

2 児童は、学校行事や特別活動をはじめ、学校生活にめあてを持って毎日過ごしている。

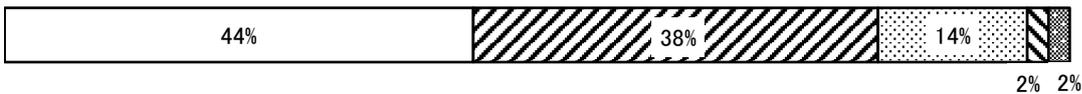
学校の取組

本校では学校行事等でも「自分ごととしてとらえ、表現できる子」の育成に向けて、児童一人ひとりがめあてを持ち、主体的に活動できるよう指導に当たっています。また、遠足・校外行事やクラブ・委員会活動、学級での係活動等においても児童が主体的に活動する場面を設定し、自主性や協調性の育成に努めています。

児童 設問 **いつも「自分で考え行動する」ようにしている。**



保護者 設問 **子どもは、運動会・学年発表会などの学校行事や学校生活でめあてをもって活動している。**



今後に向けて

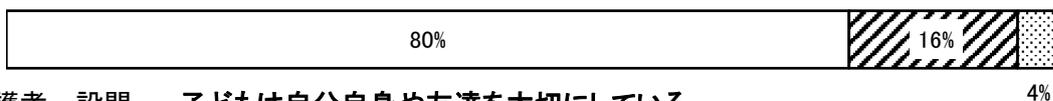
1の設問の視野をより広げ、学校生活全般についての質問としています。児童・保護者共に、積極的的回答が8割を超えています。今後も学校行事等を含むカリキュラム全体を見直して、育てたい力をより効果的にはぐくめるよう教育課程の編成に努めていきます。

3 学校は、「自他尊重」の学校づくりに取り組んでいる。

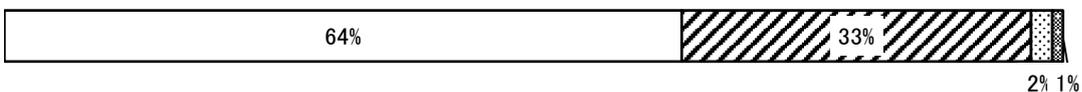
学校の取組

今年度も昨年度に引き続き、「自他尊重」の学校づくりを様々な場面で意識し取り組んできました。講話朝会やS学活、人権週間等で「自他尊重」の定義を全校に発信する機会を多く設けています。教育活動内だけでなく、日常生活全般で自分自身を見つめ、大切にすることで周りの人たちに対しても、豊かで温かな接し方ができることを目指してきました。

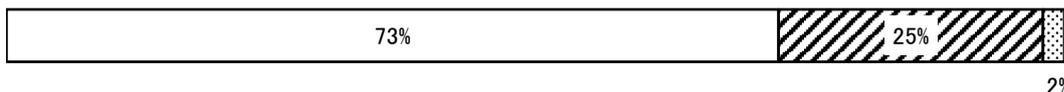
児童 設問 **友達を大切にしている。**



保護者 設問 **子どもは自分自身や友達を大切にしている。**



教職員 設問 **私は自他尊重「自分も大切 他人も大切」の学校づくりに取り組んでいる。**



今後に向けて

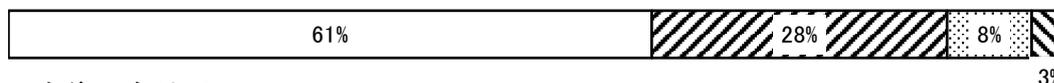
昨年度以上に積極的的回答が多い結果となりました。「真心と思いやりのある子」をはぐくむために、道徳教育や特別活動の充実を注ぎ、引き続き「自他尊重」の学校づくりに取り組みます。互いに安心して過ごしやすい環境となるよう努めていきます。

4 児童は、友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、安全・安心な学校生活を送れるよう、児童の生活ルールを定め、定期的の確認を行い、落ち着いた学校生活の実現に向けて取り組んでいます。又、教育計画を工夫して授業改善に努め、充実した学校生活になるように目指してきました。

児童 設問 学校は楽しい。



今後に向けて

通常の学校生活が稼働となり、全校児童が集まったの集会や発表の場が多く実施できました。認められる場が増えたことにより、今年度も多くの児童が「学校は楽しい」と評価しています。児童が「楽しい」と感じるためには、学校・教室が居心地の良い場であることが大切です。他者とのつながりを大事にし、学校生活を実りあるものにしていきます。そのために、家庭・地域との連携を図り、引き続き授業改善や特別活動の充実に力を注いでいきます。

5 学校は、いじめの未然防止、早期発見・早期対応のための取組を行っている。

学校の取組

本校では、年度始めにいじめの判断基準の見直しを行い、全職員で確認をしています。児童の日々の動きをより細かく丁寧に見取することを心がけ、いじめの未然防止に取り組んでいます。また、月ごとの職員会議や児童指導委員会など、児童の情報交換を行う場を設定しています。そこでは、児童理解を深め、全教職員での共通理解・指導方針の検討を行っています。月に1回実施しているスクールアンケートでは、児童が書いてきた事柄を詳しく点検し、当該クラスや学年だけでなく、学校全体として問題解決に当たるよう取り組んでいます。

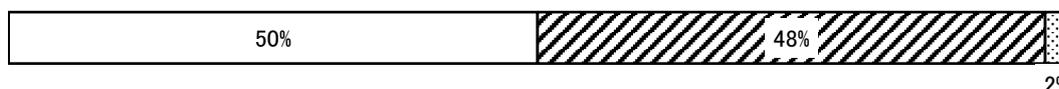
保護者 設問

学校は、仲間づくりに取り組んだり、月1回のスクールアンケート等に取り組んだりしているが、いじめの未然防止や早期発見・早期対応につながっている。



教職員 設問

私は、SST(人と関わるためのスキルを身に付けるプログラム)を積極的に取り入れるなどし、学級づくりに力を注ぎ、いじめの未然防止に取り組んでいる。また、いじめの早期対応を心掛けている。



今後に向けて

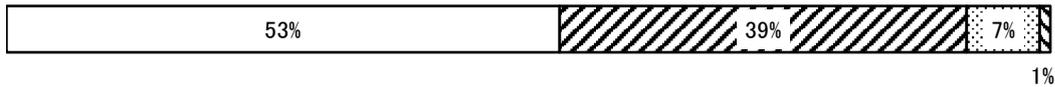
いじめの早期発見・早期対応に加え、すべての児童に寄り添い、普段から観察を怠らないこと、些細な変化であっても見逃さないことを意識しながら指導にあたり、いじめの「未然防止」に取り組んできました。児童指導・支援グループを中心に、学校全体で教職員の意識を高めていくとともに、保護者との連携を大切にして児童の人間関係づくりを支えていきます。

6 学校は、「健康で粘り強い子」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、「健康で粘り強い子」を、規則正しい生活を送り、目標をもって積極的に活動する子ととらえています。健康安全グループを中心に、熱中症対策や病気・けがの予防など健康で安全な生活を送るための指導を計画的に行い、規則正しい生活や自分の健康に目を向けながら生活できるよう取り組んでいます。

児童 設問 **健康や安全に気をつけ、決まりを守って生活している。**



保護者 設問 **子どもは健康や安全に気をつけて、学校で元気に過ごしている。**



教職員 設問

私は、子どもたちの安心・安全を第一に考え、指導、支援を心がけるとともに、規則正しく健康な生活を送るよう指導している。



今後に向けて

教職員が、健康観察や健康指導を継続するとともに、規則正しい生活を促すための「生活リズム大作戦」や自分の健康に意識を持たせる「健康カレンダー」に取り組んでいきます。「保健だより」などでは、学校の健康に関する様子を伝え、家庭との連携をとりながら取組の充実を図っていきます。

7 学校は、児童の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

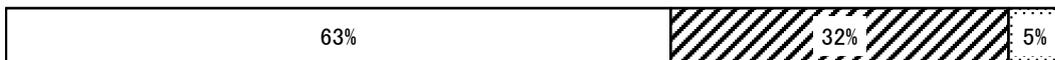
本校では、健康安全グループを中心に、避難訓練・退避訓練・交通安全教室などを計画し行っています。これらの安全行事では、児童の実態に合わせた事前・事後指導にも力を入れ、より実践的な対応ができるようにしています。また、安全点検日を月に1回設け、破損や危険箇所を確認を定期的に行っています。さらに外部機関の協力による交通安全教室や関係機関の専門家による不審者対応訓練などを行い、自分の命を守る学習を行っています。

教職員 設問 **私は児童が安全な学校生活を送れるよう日々の指導を心掛けている。**



教職員 設問

私は月1回の施設点検で終わらせず、不備な箇所は整備を心がけ、児童が安全に過ごせるように努めている。



今後に向けて

来年度も、より実践的な安全行事を計画し、児童が自分の命を守る力を付けられるよう指導を重ねます。本校学区は交通量の多い道路が多いため、登下校の際は見守りなど、児童の安全確保のために地域の方が積極的に活動してくださっていますが、そういう方々と連携しながら、一人ひとりが交通安全への意識をさらに高めるようにしていきます。施設・設備については関係機関とも連携し、早急な対応を心がけます。

8 学校は、児童に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

教育相談コーディネーターを中心に校内支援体制を整えました。支援の必要な児童の行動や様子、保護者からの相談などに対応できるようにしました。また、担任一人で様々なケースを抱え込まないように随時ケース会議を開き、SC（スクールカウンセラー）、SRA（サポートルームアシスタント）、綾瀬市健康づくり推進課などの外部機関とも連携して、組織的に対応しています。

教職員 設問

学校は、教育相談コーディネーターを活用しケース会議を開くなど、組織的に子どもたちの支援を実施している。



今後に向けて

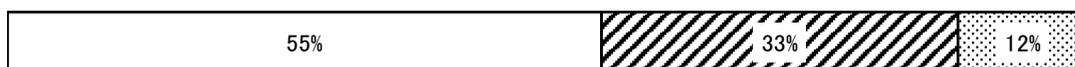
学校全体としての支援の体制は、充実したものになってきています。今後も児童指導・支援グループを中心に児童一人ひとりや保護者の教育的ニーズに応じた対応が組織的にできるようにしていきます。児童の居場所づくりのためにも、サポートルームの効果的な運営活用をSRAと共に考えていきます。また、今後も授業や学級経営の場面における支援の仕方などインクルーシブ教育についても職員研修を進め、全職員で足並みを揃えた授業を心掛けて取り組み、児童一人ひとりの実態に応じた教育活動の必要性を再確認します。

9 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

目的を明確にして、組織的・効率的な学校運営を図るため、学習指導要領でうたわれているカリキュラム・マネジメントの推進に取り組んでいます。総括教諭が中心となって運営する4つのグループや各学年等で、子どもたちにはぐくみたい力が身に付くよう、具体的な教育活動を行っています。

教職員 設問 校長の経営方針をふまえ、総括教諭や学年代表を中心とした組織が機能している。



今後に向けて

今年度も、「自他尊重」の学校づくりに取り組み、「自分ごととしてとらえ、表現できる子」をはぐくむという重点目標に向かって、4つのグループの各担当や担任・学年等が取組を進めました。来年度も、カリキュラム・マネジメント会議を通して職員間で共有を図った育てたい資質・能力につながるグランドデザインの具現化を図っていきます。また運営組織の見直しなどを行うことで働きやすい環境作りにつなげ、職員一人ひとりがゆとりをもって教育活動を行えるようにしたいと考えます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

校内研究では、「自分ごととしてとらえ、表現できる子」をテーマに、学ぶ過程を大切にし、生活科・総合的な学習の時間を中心に据えたカリキュラム・マネジメントを行ってきました。教職員の力量を高めるための研修やミニ研修の取組も行っています。

教職員 設問

私は、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、一人一人を見取るようにし授業改善に取り組んでいる。



教職員 設問

私は、カリキュラム・マネジメントを意識した教育課程編成を心がけ、教科等横断的・総合的な学習を実施している。



今後に向けて

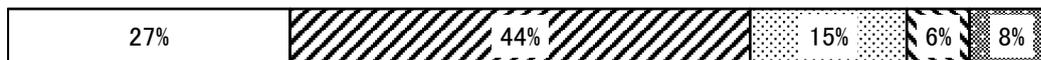
総合的な学習の時間・生活科を中心に据えたカリキュラム・マネジメントに取り組みながら、さらにカリキュラム・マネジメントへの理解を深め、より効果的・効率的にはぐくみたい力が身に付く教育課程の編成を心がけます。また、授業改善の視点をもって日々の授業に取り組んでいきます。

11 学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のために工夫をしている。

学校の取組

本校では、毎週の学年会や月ごとの職員会議、児童指導委員会など児童指導の情報交換の場を設定し、児童理解を深め、全教職員での共通理解、指導方針の検討を行っています。また、可能な限り低学年から授業交換をして、学年職員間で共に児童の成長過程を確認するように心がけています。日常より自己肯定感を高めていくことに重点を置いて指導をしています。年度末には、心が温まる・明るくなる良い行いのエピソードを、児童の目線から紹介し掲示することで全校にその輪を広げ、学校全体の行動規範を高める取組も行っています。

保護者 設問 学校は、一人ひとりの子どもを認め大切にした指導を行っている。



教職員 設問 私は、一人ひとりの子どもを認め、自己肯定感を高める工夫をしている。



今後に向けて

引き続き一人ひとりの児童理解に努め、児童の主体的な活躍の場を多く設け、自己肯定感を高める工夫をしていきます。

12 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

学校の取組

本校では、学校だより、学年だより等を通して、学校の教育方針や教育活動、児童の活動の様子等を伝えていきます。今年度も本の読み聞かせや学習ボランティア、PTA、見守り隊として保護者・地域の方々の協力を得ることができました。また、3年目になるコミュニティ・スクールでは、委員の方々のご意見をもとに、PTAと連携し、今年度から1年生の給食サポートの取組をはじめ、たくさんの保護者の方にご協力いただきました。

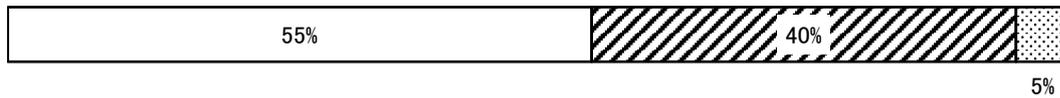
保護者 設問

学校からのたよりやPTA活動を通じて、学校の取組を知ることができた。



教職員 設問

私は学校からのたよりやPTA等での集まりの場を通じて、学校の取組を紹介し、連携を呼びかけている。



— 今後に向けて —

来年度も今年度の取組を生かし、教育活動の見直し等を進めていきます。「学校・学年だより」や「学級懇談会・個別面談」等の充実を図り、引き続き保護者や地域の方々に教育活動を伝える努力をしていくとともに、地域ボランティア等との連携を推進していきます。また、コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会を定期的に行き、熟議等で教育課題等について協議し、地域とともにある学校を目指していきます。